

令和4年(2022年)10月18日
長野県病害虫防除所

病害虫発生予察 9月月報

(生育概況及び病害虫の調査結果)

令和4年9月の気象表 (長野地方気象台発表)

官署等	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長野	本年	24.0	25.1	18.5	85.5	40.5	88.0	42.0	81.3	46.3
	平年	23.3	21.2	18.5	39.6	51.7	34.2	54.7	49.4	47.1
松本	本年	23.3	24.0	18.3	59.5	26.0	102.5	39.5	66.6	49.0
	平年	22.8	20.7	17.8	39.2	59.2	49.6	53.6	50.9	46.5
諏訪	本年	22.4	22.9	18.5	188.0	52.0	78.0	40.1	70.2	55.6
	平年	22.0	20.1	17.3	49.7	70.5	56.8	54.5	50.6	47.8
軽井沢	本年	19.3	18.7	15.1	64.0	38.0	84.0	19.3	51.3	46.5
	平年	18.9	17.0	14.2	71.1	70.2	52.3	44.8	42.8	39.0
飯田	本年	24.1	24.5	20.4	113.5	68.5	82.5	38.4	64.5	51.6
	平年	23.6	21.7	19.1	52.9	80.3	75.4	55.3	52.2	47.0

台風や前線、湿った空気等の影響で曇りや雨の日が多くなり、非常に激しい雨の降った日もあった。

また、暖かい空気に覆われやすかったため平均気温は高くなった。

1 水 稲

(1) 生育概況

本年の須坂市(農業試験場)における成熟期調査では、「あきたこまち」、「コシヒカリ」とともに稈長はやや長く、穂長は平年並であった。穂数は「あきたこまち」がやや多く、「コシヒカリ」はやや少なかった(第1表)。

第1表 イネの生育状況

須坂市(農業試験場作物部)

品種名	区分	幼穂形成期(月/日)	出穂期(月/日)	成熟期			
				(月/日)	稈長 cm	穂長 cm	穂数本/m ²
あきたこまち	平年	7/7	7/27	9/6	85	18.6	468
	前年	7/7	7/27	9/6	80	18.7	482
	本年	7/6	7/27	9/6	87	18.4	530
コシヒカリ	平年	7/12	8/4	9/14	94	18.7	483
	前年	7/14	8/5	9/17	89	19.4	451
	本年	7/13	8/6	9/16	96	18.6	449

*移植期: 2022年5月20日 平年は2015~2021年までの最大値と最小値を除いた5か年の平均値

(2) 病害虫の発生状況

①いもち病

穂いもちの発病地点率は、東信地域で平年と比べ低かったが、その他の地域は平年に比べ高く、県全体ではほぼ平年並であった。また、平均発病穂率は、東信地域で平年と比べ低く、南信地域では高かった。その他の地域は平年並であった(第2表)。

第2表 地域別穂いもち発生状況(9月上中旬調査)

地域	調査地点数	発病地点率(%)*		平均発病穂率(%)*		発病穂率の発生程度別地点数 *2)				
		平年	本年	平年	本年	本年内訳				
		甚	多	中	少	無				
東信	14	70.6	50.0	1.93	1.06	0	0	0	7	7
南信	17	48.1	66.7	0.89	4.73	0	0	3	9	5
中信	17	44.9	58.8	0.57	0.61	0	0	0	10	7
北信	17	40.9	58.8	0.72	0.80	0	0	0	10	7
県全体	65	50.1	54.8	0.97	0.92	0	0	3	36	26

*1) 発病地点率は巡回調査地点の中で、発生が確認された地点の割合を地域ごとに示したもの。
平均発病穂率は巡回調査地点の発病穂率を地域ごとに平均したもの。
平年は2012~2021年の平均値。

*2) 発生程度別基準(農作物有害動植物発生予察事業調査実施基準より)

程 度	甚	多	中	少	無
発病穂率(%)	61以上	31~60	11~30	1~10	0

②紋枯病

発病地点率はほぼ平年並であった。平均発病株率は、全般に平年と比べ低かった。

③白葉枯病

巡回調査では、発生は確認されなかった。

④稲こうじ病

発病地点率は中信地域、北信地域で平年と比べ高かった。東信地域は平年並、南信地域は平年と比べ低かった。

平均発病株率は、東信地域、北信地域で平年と比べ高かった。南信地域は平年と比べ低く、中信地域は平年並であった（第3表）。

第3表 9月上中旬の稲こうじ病の発生状況

地域	調査地点数	発病地点率(%)		平均発病株率(%)	
		平年	本年	平年	本年
東信	14	15.3	14.3	2.3	3.0
南信	17	15.8	10.0	1.2	0.2
中信	17	1.6	5.0	0.0	0.2
北信	17	7.9	17.6	0.2	0.8
県全体	65	9.8	11.3	0.9	0.9

(注) 発病地点率は巡回調査地点の中で、発生が確認された地点の割合を地域ごとに示したものの。
平均発病株率は巡回調査地点の発病株率を地域ごとに平均したもの。
発病地点率の平年は2012～2021年の平均値。発病株率の平年は2015～2021年の平均値。

⑤コブノメイガ

巡回調査では、北信地域の1ほ場で、上位2葉の被害葉が確認された。

⑥セジロウシ

9月上中旬のすくい取り調査（ネット20回振）では、平均捕獲頭数は全般に平年と比べ少なかった。

⑦ツマグロヨコバイ

9月上中旬のすくい取り調査では、成虫捕獲頭数は、東信地域、北信地域でほぼ平年並、南信地域、中信地域では平年と比べかなり少なかった。

⑧トビイロウンカ

予察灯への誘殺及び巡回調査ほのすくい取り調査では、いずれの地点でも捕獲されなかった。

⑨ニカメイガ（第2世代）

毎年、発生がみられる東信地域では、巡回調査における白穂発生地点率は、平年と比べ高く、白穂株率も平年と比べ高かった。また、本年度は北信地域でも4年ぶりに被害が確認され、白穂発生地点率、白穂株率ともに平年と比べ高かった（第4表）。

第4表 ニカメイガによる白穂発生状況（9月上中旬調査）

地域	調査地点数	白穂発生地点率(%)		平均白穂株率(%)	
		平年	本年	平年	本年
東信	14	15.6	28.6	1.58	2.29
南信	17	1.6	0	0.05	0
中信	17	0.6	0	0.01	0
北信	17	2.6	5.9	0.09	0.24
県全体	65	4.5	7.7	0.37	0.55

(注) 発生地点率は巡回調査地点の中で、発生が確認された地点の割合を地域ごとに示したものの。
平均白穂株率は巡回調査地点の発病株率を地域ごとに平均したもの。
平年は2012～2021年の平均値。

⑩斑点米カメムシ類

9月上中旬のすくい取り調査では、東信地域で平均捕獲頭数が平年と比べ多かった。また、北信地域は平年並であったが、南信地域、中信地域では、平年と比べ少なかった。

主要種は、多くのほ場ではアカヒゲホソミドリカスミカメであったが、東信地域、北信地域の一部のほ場ではアサスジカスミカメが多かった（第5表）。

第5表 すくい取り調査における斑点米カメムシ類の捕獲状況（9月上中旬）

地域	調査地点数	捕獲地点率(%)		平均捕獲頭数(頭)		種別捕獲頭数合計(頭)			
		平年	本年	平年	本年	計	アカヒゲホソミ	アサスジ	アカヒメ
							ドリカスミカメ	カスミカメ	カメムシ
東信	14	12.0	13.3	0.16	0.40	6	1	5	0
南信	17	37.3	0.0	2.11	0.00	0	0	0	0
中信	17	39.4	14.3	1.69	0.29	6	5	0	1
北信	17	27.1	23.5	0.89	0.94	16	8	8	0
県全体	65	30.1	12.7	1.29	0.39	28	14	13	1

(注) 調査方法：本田において、すくい取り（ネット20回振）で捕獲された斑点米カメムシ類（成虫+幼虫）を調査。

捕獲地点率(%)は、調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合。
 平均捕獲頭数は、捕獲頭数計(成虫数+幼虫数)÷調査地点数。
 平年は2012～2021年の平均値。

⑪イチモンジセセリ(イネツトムシ)

巡回調査では、確認された「つと」数及び確認された地点数は、東信地域で平年と比べ少なく、北信地域ではほぼ平年並であった。南信地域、中信地域の巡回調査までは「つと」は確認されなかった。

⑫クサキリ類

9月中下旬のすくい取り調査では、クサキリ類の捕獲頭数は、東信地域、北信地域ではほぼ平年並、南信地域、中信地域で平年と比べ少なかった。

2 **りんご**

(1) 生育概況

須坂市(果樹試験場)の果実肥大は、シナノスイートが平年と比べやや大きく、ふじが平年と比べやや小さい傾向であった(第1表)。

第1表 りんごの果実肥大状況 須坂市(果樹試験場)

調査日	シナノスイート								ふじ							
	縦径(mm、%)				横径(mm、%)				縦径(mm、%)				横径(mm、%)			
	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比
9/1	72.8	71.8	77.1	106	83.2	85.8	86.2	104	69.3	66.0	66.6	96	82.0	82.7	77.5	95
9/15	76.4	75.4	82.1	107	87.2	89.7	90.5	104	72.5	69.9	70.4	97	85.2	85.7	81.8	96
10/1	80.1	78.7	85.2	106	91.6	93.5	94.6	103	75.5	71.2	72.8	96	88.4	88.1	84.7	96

平年は2007年～2021年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①褐斑病

巡回調査では、南信地域、中信地域、北信地域で発生がみられ、発生量は平年並であった。

②斑点落葉病

巡回調査では、南信地域、北信地域で発生がみられ、平年並の発生であった。

③輪紋病

巡回調査では、発生がみられなかった。

④炭疽病

巡回調査では、発生がみられなかった。

⑤キンモンホソガ

巡回調査では、東信地域、南信地域、北信地域で寄生葉がみられ、発生量は平年並であった。

須坂市(果樹試験場)のフェロモントラップによる誘殺頭数は、9月は第1半旬～第6半旬まで平年と比べ少なかった(第2表)。

第2表 キンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
平年	401.9	621.4	568.7	592.2	548.2	366.0
前年	24	21	92	294	311	59
本年	332	287	240	117	58	54

平年は2012年から2021年までの平均値

⑥シンクイムシ類

巡回調査では、果実被害はみられなかった。

須坂市(果樹試験場)のモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺頭数は、第1半旬～第2半旬は平年と比べやや多く、第3半旬～第6半旬は平年並であった(第3表)。

須坂市(果樹試験場)のスモモヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺頭数は、9月第1半旬～第2半旬は平年と比べやや多く、第3半旬～第6半旬は平年並であった(第4表)。

第3表 モモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
平年	5.6	5.6	3.6	1.4	0.7	0.4
前年	1	1	0	0	0	0
本年	15	10	4	3	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

第4表 スモモヒメシクイのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	4.4	6.6	6.4	3.2	2.7	1.0
前年	7	4	4	2	0	0
本年	17	25	9	7	4	0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑦ハダニ類

巡回調査では、県下各地でリングハダニ、ナミハダニの寄生がみられ、東信地域、北信地域の一部ほ場では多発傾向が続いており、発生量は平年並～多であった。

⑧リングコカクモンハマキ

巡回調査では、新梢の被害はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップによる誘殺はなかった（第5表）。

第5表 リングコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	0.0	0.3	0.2	0.5	0.4	0.1
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

3 **なし**

(1) 生育概況

高森町（南信農業試験場）の果実肥大は、二十世紀、南水ともに平年と比べやや大きい傾向であった（第1表）。

第1表 なしの果実肥大状況（mm、%）

高森町（南信農業試験場）

品種名	区分	8月15日		9月1日		9月15日	
		縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径
二十世紀	平年	66.5	75.8	76.8	87.6	80.9	93.1
	前年	70.5	76.7	77.8	85.8	83.1	92.0
	本年 (平年比)	71.5 (108)	78.7 (104)	81.3 (106)	89.7 (102)	85.7 (106)	95.3 (102)
豊水	平年	72.3	83.2	82.6	96.3	88.0	102.9
	前年	74.6	85.4	83.3	96.3	—	—
	本年 (平年比)	78.8 (109)	90.3 (109)	88.4 (107)	101.8 (106)	—	—
南水	平年	60.6	76.9	69.6	88.4	73.5	94.0
	前年	61.7	78.4	69.5	88.7	73.7	93.5
	本年 (平年比)	63.5 (105)	75.4 (103)	72.0 (103)	93.9 (106)	75.4 (103)	98.6 (105)

平年は2001年から2020年までの平均値（幸水は長果枝と短果枝の平均）

(2) 病害虫の発生状況

①枝幹性病害（胴枯病・枝枯病）

巡回調査では、発生はみられなかった。

②カメムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによるクサギカメムシの誘殺頭数は、平年並であった（第2表）。

チャバネアカカメムシの誘殺頭数は、9月第2半旬～第3半旬及び第6半旬は平年と比べやや多かった（第2表）。

第2表 カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

高森町（南信農業試験場）

種類	区分	9月					
		1	2	3	4	5	6
クサギカメムシ	平年	0.2	0.1	0.1	0.1	0.8	0.7
	前年	0	0	0	1	1	0
	本年	0	0	1	0	0	0
チャバネアカカメムシ	平年	2.1	0.6	0.7	0.6	0.2	0.3
	前年	0	0	1	0	1	0
	本年	4	6	4	1	1	4

平年は2012年から2021年までの平均値

③ナシヒメシンクイ

巡回調査では、被害果はみられなかった。
高森町（南信農業試験場）でのフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年並であった（第3表）。

第3表 ナシヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
高森町（南信農業試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
平年	12.6	9.3	7.2	6	2.1	1.3
前年	7.5	2.5	5	6	0.5	1
本年	15	9.5	9.5	4.5	1.5	1.5

平年は2012年から2021年までの平均値

④モモシンクイガ

巡回調査では、寄生はみられなかった。
高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年並であった（第4表）。

第4表 モモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
高森町（南信農業試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
平年	0.2	0.1	0.1	0	0	0
前年	0.5	0	0	0	0	0
本年	0.5	0	0	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑤ハダニ類

巡回調査では、南信地域でナミハダニの寄生がみられたが、全般的に発生量は平年並であった。

⑥リンゴコカクモンハマキ

巡回調査では、寄生はみられなかった。
高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、やや少～平年並であった（第5表）。

第5表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
高森町（南信農業試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
平年	0.7	1	1.1	1.5	1.7	0.7
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0.5	0.5

平年は2012年から2021年までの平均値

4 **もも**

(1) 病害虫の発生状況

①シンクイムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。
須坂市（病害虫防除所）のモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺はなかった（第1表）。

第1表 モモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
須坂市（病害虫防除所）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
平年	3.0	3.2	0.7	0.3	0.0	0.0
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

②モモハモグリガ

巡回調査では、被害葉はみられなかった。
須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、9月第1半旬～第3半旬は平年と比べ少なかったが、第4半旬～第6半旬は平年と比べ多かった（第2表）。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
平年	199.4	380.1	161.3	159.3	77.9	30.9
前年	8	13	50	15	42	11
本年	165	158	153	179	260	148

平年は2012年から2021年までの平均値

5 **ぶどう**

(1) 病害虫の発生状況

①晩腐病

巡回調査では、発生はみられなかった。

②さび病

巡回調査では、中信地域、北信地域の一部ほ場で発生がみられ、発生量は平年並であった。

③べと病

巡回調査では、県下各地で発生がみられ、発生量は平年並であった。

④灰色かび病

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤黒とう病

巡回調査では、北信地域の一部ほ場で茎葉に発生がみられたが、発生量は平年並であった。

⑥クビアカスカシバ

巡回調査では、主幹および主枝への被害はみられなかった。

小布施町（病害虫防除所）のフェロモントラップによる誘殺はなかった（第1表）。

第1表 クビアカスカシバのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

小布施町（病害虫防除所）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
平年	0	0	0	0	0	0
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

6 **かき**

(1) 生育概況

高森町（南信農業試験場）の果実肥大は、平年と比べやや大きい傾向であった（第1表）。

第1表 かきの果実肥大状況

高森町（南信農業試験場）

品種名	区分	9月1日(mm)		9月15日(mm)		10月1日(mm)	
		縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径
市田柿	平年	47.7	50.5	50.5	53.0	55.8	58.1
	前年	48.2	48.7	52.2	51.7	56.7	56.5
	本年 (平年比)	51.7 (108)	50.4 (100)	55.4 (110)	53.0 (100)	59.0 (106)	57.1 (98)

平年は2001年から2020年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①うどんこ病

巡回調査では、発生がみられなかった。

②炭疽病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③円星落葉病

巡回調査では、発生はみられなかった。

④カキクダアザミウマ

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤カキノヘタムシガ

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑥ハマキムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑦フジコナカイガラムシ

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、全般的に平年と比べ少なかった（第2表）。

第2表 フジコナカイガラムシのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
高森町（南信農業試験場）

区分	9月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	68.5	115.4	142.8	69.3	152.5	109.1
前年	4	5	9	12	8	13
本年	32	67	60	35	5	2

平年は2013年から2018年までの平均値

⑧ハマキムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

7 野菜・花き

(1) 病害虫の発生状況

①トマトの病害

巡回調査では、南信地域で葉かび病の発生がみられた。

②きゅうりの病害

収穫期終盤を迎え、防除圧の弱まり等から病害の発生が露地栽培でみられ、巡回調査では、北信地域（露地栽培）で炭疽病、べと病の発生がみられた。南信地域、中信地域（施設栽培）で、うどんこ病の発生が8月以降継続してみられた。

③アブラナ科野菜の病害

巡回調査では、南信地域、中信地域のキャベツで、株腐病、黒腐病、軟腐病の発生がみられた。

ブロッコリーでは、東信地域、南信地域で黒すす病の発生がみられた。

はくさいでは、東信地域、中信地域で軟腐病の発生がみられた。

④レタスの病害

巡回調査では、東信地域で腐敗病、軟腐病、斑点細菌病の発生がみられ、中信地域で腐敗病、軟腐病、斑点細菌病の発生がみられ、北信地域で軟腐病の発生がみられた。

⑤セルリーの病害

巡回調査では、中信地域で萎黄病が増加傾向で、南信地域では斑点病の発生がみられた。

⑥アスパラガスの病害

巡回調査では、東信地域、北信地域で茎枯病の発生がみられた。北信地域では、茎枯病の発生が夏場から継続してみられている。

東信地域、中信地域、北信地域で斑点病の発生がみられ、急増しているところもあった。

⑦ねぎの病害

巡回調査では、南信地域、中信地域で葉枯病の発生が継続してみられた。

⑧コナガ（アブラナ科野菜）

巡回調査では、東信地域のキャベツ、東信地域及び南信地域のブロッコリーで寄生がみられた。

フェロモントラップによる誘殺頭数は、小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）、長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）では、7月から9月末まで平年と比べかなり多い誘殺頭数で推移した。その他の調査地点は、おおむね平年並か平年と比べ少なかった。

第1表 コナガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	9月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	12.3	4.4	6.0	5.2	2.5	4.1
		本年	0	0	1	3	0	0
小諸市山浦 (同 佐久支場)	レタス	平年	7.3	7.1	7.8	12.0	10.4	8.8
		本年	15	87	65	14	16	18
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	3.5	2.3	2.1	2.3	2.4	1.1
		本年	3	0	1	5	0	0
東筑摩郡朝日村 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	39.7	12.3	17.7	4.0	5.3	3.3
		本年	2	1	2	1	0	1
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	9.8	13.4	19.4	18.2	13.9	11.1
		本年	82	93	88	86	82	84

平年は2012年から2021年までの平均値。朝日村は2019年から2021年までの平均値

⑨オオタバコガ

巡回調査では、被害がみられなかった。

フェロモントラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）では、7月第4半句以降は平年と比べやや多く、9月第4半句以降は平年並であった。

小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）では、9月第1半句に急減し、平年と比べやや少なく、第2半句以降は増加し、平年並であった。

須坂市小河原（農業試験場）では、7月第3半句以降は、平年と比べ多く推移していたが、9月第5半句以降は平年並～やや少なかった。

第2表 オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半句	9月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 （野菜花き試験場）	キャベツ・ はくさい	平年	49.5	59.3	68.2	69.2	64.4	60.8
		本年	62	78	86	65	46	52
小諸市山浦 （同 佐久支場）	レタス	平年	47.5	48.0	63.3	57.4	72.0	56.6
		本年	31	53	54	68	71	71
須坂市小河原 （農業試験場）	とうもろこし・ 水稻	平年	19.1	17.9	16.5	21.4	24.4	34.9
		本年	30	38	41	33	24	21

平年は2012年から2021年までの平均値

⑩ヨトウガ

フェロモントラップ調査による誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）では、7月以降は平年と比べ多く、9月以降はおおむね平年並であった。

須坂市小河原（農業試験場）では、9月第4半句までは平年と比べ多く、9月第5半句以降は平年並であった。

第3表 ヨトウガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半句	9月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 （野菜花き試験場）	キャベツ・ はくさい	平年	25.3	24.5	27.1	24.7	19.6	12.2
		本年	26	16	17	27	17	6
須坂市小河原 （農業試験場）	とうもろこし・ 水稻	平年	3.8	5.2	2.5	1.7	1.1	1.2
		本年	10	8	5	3	1	0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑪ハスモンヨトウ

フェロモントラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）では、5月以降は平年並で推移していたが、9月第3半句及び第5～6半句では平年と比べ多かった。

須坂市小河原（農業試験場）では、9月第2半句に急増したが、第4半句以降は平年より少なかった。

第4表 ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半句	9月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 （野菜花き試験場）	キャベツ・ はくさい	平年	62.7	74.7	70.8	72.8	73.1	63.1
		本年	71	63	91	61	80	86
須坂市小河原 （農業試験場）	とうもろこし・ 水稻	平年	166.3	166.1	138.1	166.1	199.4	151.9
		本年	106	446	192	55	91	99
上田市菅平 （地区発生予察ほ）	はくさい	平年	4.0	4.3	3.1	4.0	3.0	2.0
		本年	8	2	0	0	0	1

平年は2012年から2021年までの平均値

⑫シロイチモジヨトウ

フェロモントラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀（県発生予察ほ）では、9月第2半句に急増し、第2半句から5半句まで平年と比べかなり多かった。

長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）では、平年並であった。

第5表 シロイチモジヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半句	9月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 （野菜花き試験場）	キャベツ・ はくさい	平年	10.4	14.7	7.5	8.1	6.3	3.5
		本年	8	26	65	51	15	3
長野市上ヶ屋 （地区発生予察ほ）	キャベツ	平年	0.5	1.3	2.0	1.3	0.5	0.0
		本年	0	2	2	1	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑬チョウ目害虫

巡回調査では、チョウ目害虫（種不明）による食害が各地のアブラナ科野菜でみられた。

⑭アザミウマ類

巡回調査では、中信地域のねぎで、南信地域、中信地域及び北信地域のアスパラガスで寄生がみられた。

青色粘着トラップによる誘殺頭数は、上田市菅平（地区発生予察ほ）、長野市上ケ屋（地区発生予察ほ）では、誘殺数は少なかった。

塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）では、平年と比べかなり多い誘殺数となった。

第6表 アザミウマ類の青色粘着トラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	9月					
			半旬	1	2	3	4	5
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	17.3	15.0	3.3	1.8	7.0	2.8
		本年	7	9	0	4	0	0
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	20.5	18.8	6.3	5.8	11.0	9.8
		本年	62	42	32	6	15	41
長野市上ケ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	113.5	120.0	56.5	66.3	116.0	40.3
		本年	42	38	11	4	0	1

平年は富士見町・塩尻市では2017年から2021年までの平均値
上田市・長野市では2018年から2021年までの平均値

⑮ハモグリバエ類

巡回調査では、南信地域、中信地域のねぎでみられた。

⑯アブラムシ類

巡回調査では、中信地域のアスパラガスで寄生がみられた。

黄色粘着トラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）では、8月第5半旬から9月第2半旬にかけて増加したが、その後は平年並であった。その他の調査地点は平年並からやや少なかった。

第7表 アブラムシ類有翅虫の黄色粘着トラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	9月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	13.5	10.8	14.6	5.8	4.0	3.4
		本年	50	18	13	15	7	2
小諸市山浦 (同 佐久支場)	レタス	平年	30.0	11.8	7.2	7.0	2.4	4.0
		本年	6	19	3	1	2	3
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.5	1.5	1.0	1.0	0.3	0.3
		本年	1	0	1	1	1	0
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	65.2	43.2	25.3	7.7	2.8	5.0
		本年	24	12	7	4	4	1
長野市上ケ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	3.8	3.5	2.0	1.3	1.3	0.5
		本年	0	1	1	0	0	0

平年は塩尻市・小諸市・富士見町では2017年から2021年までの平均値
上田市・長野市では2018年から2021年までの平均値

⑰コナジラミ類

巡回調査では、中信地域のトマトで寄生がみられた。

⑱ハダニ類

巡回調査では、南信地域及び中信地域のきゅうり（施設栽培）、北信地域のきゅうり（露地栽培）、北信地域のアスパラガスで寄生がみられた。